

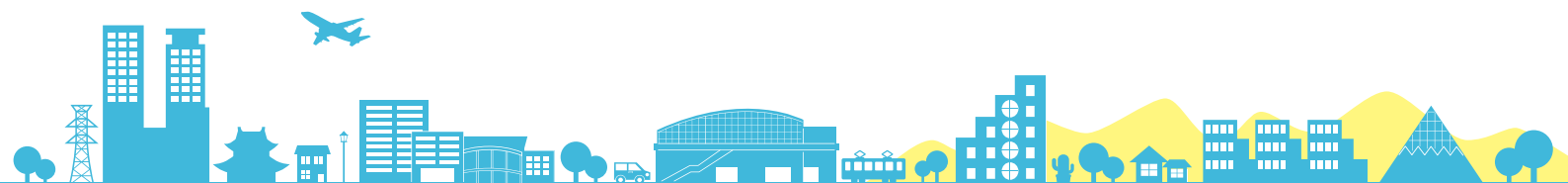
春日井市

第六次総合計画

2018-2037

私たちのまちの
未来図

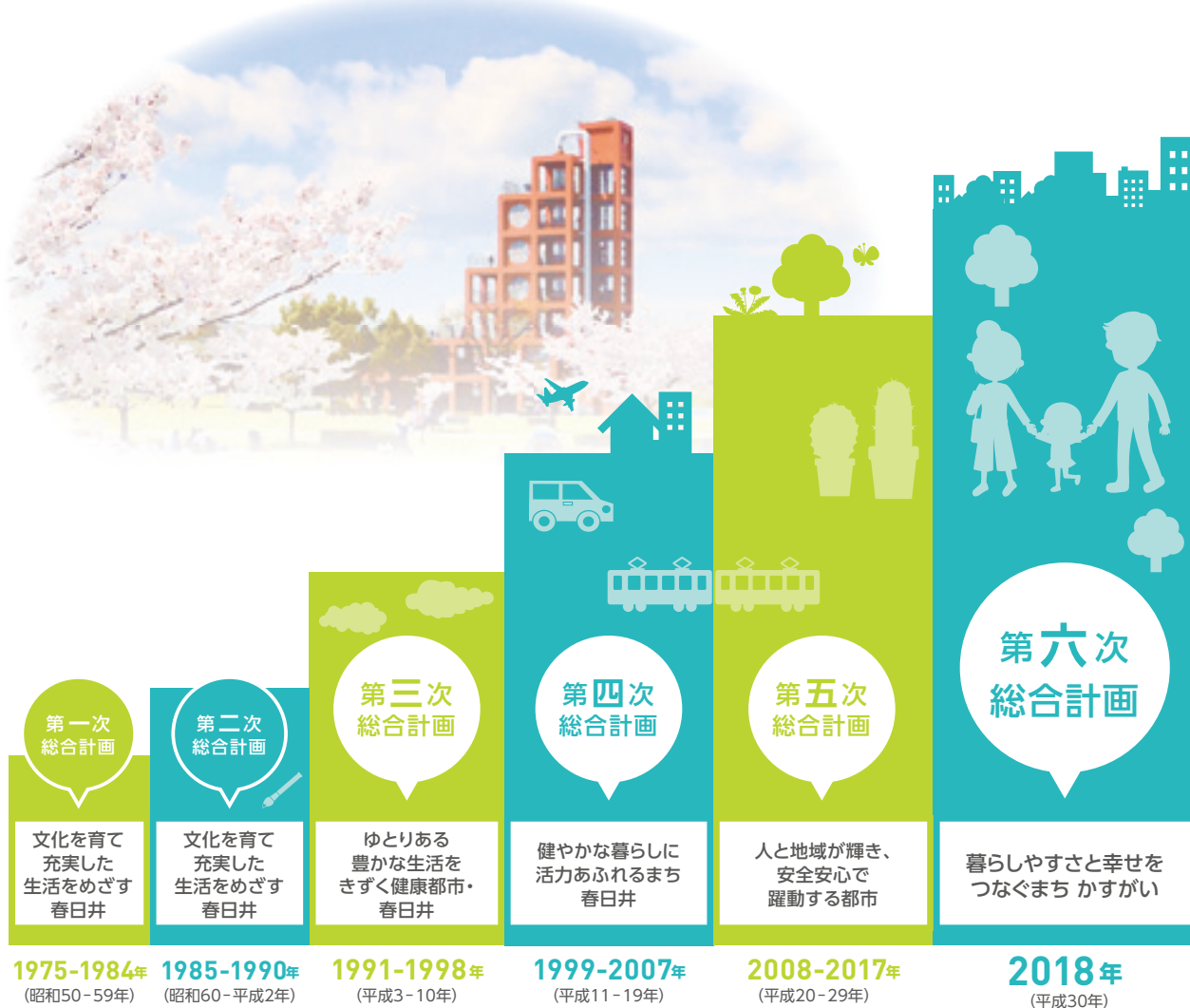
概要版



総合計画とは

● 総合計画とは

総合計画とは、将来に向けて春日井市がめざすまちづくりの指針となるものです。



● 計画の構成と期間

第六次総合計画は、基本構想と基本計画で構成する市の最上位の計画です。



20年間

10年間

基本計画に掲げた施策を推進するための事業は、毎年度見直し、効果的に実施します。

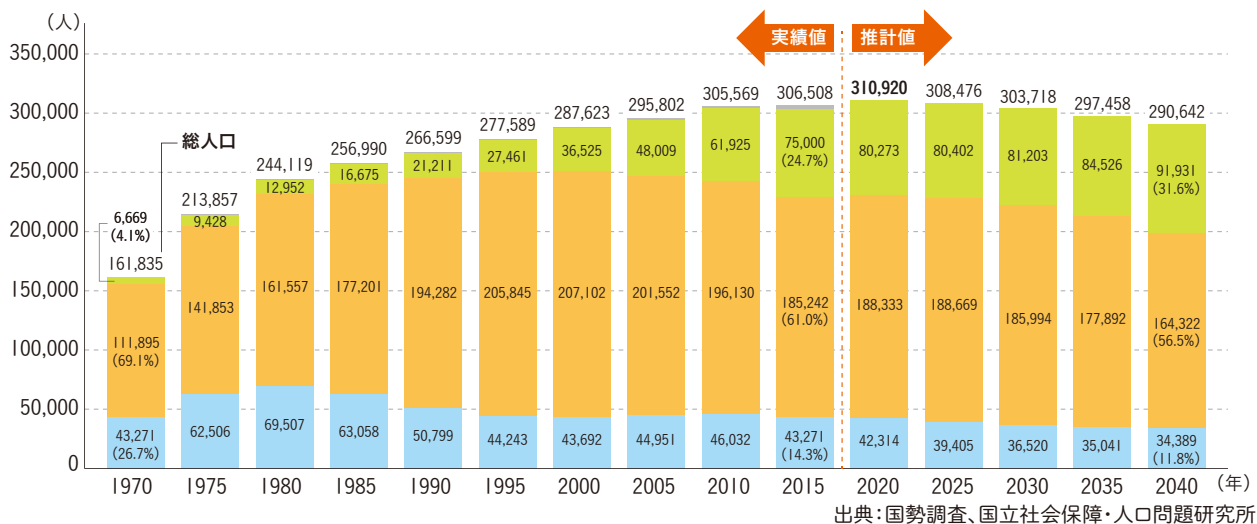
現状と課題

●人口

本市の人口は、1970年代に急増しました。1980年以降、現在まで続いている緩やかな増加は2020年まで続き、その後は緩やかに減少が進むと見られています。

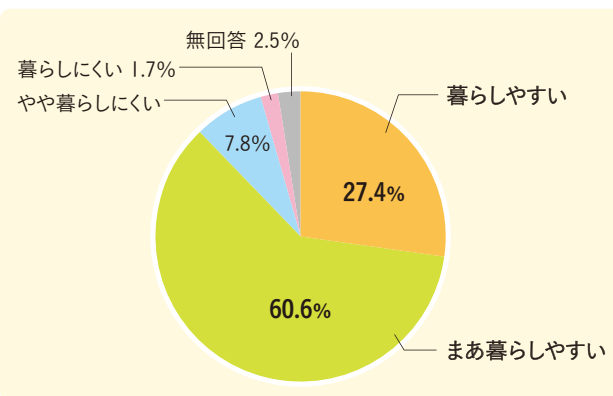
また、65歳以上の人口は増加し続け、少子高齢化が一層進行することが見込まれます。

年齢3区分別人口の推移 ■年少人口(14歳以下の人口) ■生産年齢人口(15~64歳の人口) ■高齢者人口(65歳以上の人口) ■年齢不詳



●市民意識

2016年に市民12,000人にアンケート調査を行ったところ、約90%の市民が本市を「暮らしやすい」、「まあ暮らしやすい」と感じています。



●まちづくりの課題

少子高齢化に伴う人口構造の変化は、社会保障費の増加、労働力の減少による経済成長の低下、コミュニティの弱体化など、行政運営や地域経済、市民生活に様々な影響を及ぼすことが考えられます。

本市では、引き続き少子高齢化を見据えた施策に取り組むとともに、心の豊かさや生活の質の向上を重視する成熟社会への転換に適切に対応することが必要です。

安全なまちづくり

健康づくりと
福祉・医療の充実

子育てを支える
環境づくり

地域コミュニティの活性化

快適な住環境の整備

地域経済の活性化

●市の将来像



名古屋圏を代表する住宅都市として発展してきた春日井。充実した交通網、豊かな自然などの恵まれた環境を活かし、先人が築き上げた「暮らしやすさ」という魅力を、私たちは次世代に引き継いでいかなければなりません。

そして、「暮らしやすさ」の先にある「幸せ」を多くの市民が実感できるまちにしていくことも大切です。いろいろなかたちの「幸せ」が増えることで、一人ひとりの暮らしは彩られ、まちはカラフルとなり、さらなるまちの魅力につながります。

本市は、誰もが「暮らしやすさ」と「幸せ」を実感できるまちづくりを行い、これらを人から人へ、家族から地域へ、今から未来へつないでいくことをめざします。

●基本目標

基本目標 1

安全・安心なまち

生活と健康を守り、生涯にわたって幸せに暮らすことができるまちを実現します。



基本目標 2

子どもの笑顔があふれるまち

安心して子どもを産み、育てることができ、やさしさとたくましさを持った子どもを育み、夢や誇りを持つことができるまちを実現します。



● 重点方針

人と地域がつながり暮らしやすさ

地域での助け合いは生活を支え、いざという時、大きな力になります。身近なつながりを大切にするとともに、新たなつながりを築くことができるまちづくりを進めます。

成果指標 区・町内会・自治会などの加入率

63.4% (2016年) ▶ 70.0% (2026年)

健康がつながり幸せ

健康は幸せの原点です。今後も高齢化が進むなかで、生涯にわたって心身の健康を確保し、生きがいを持って暮らすことができるまちづくりを進めます。

成果指標 健康寿命

男性 79.3歳 ▶ 平均寿命*の増加分を上回る健康寿命の増加
女性 84.0歳 (2015年) (2025年)

子どもと学びがつながり未来

未来を担う子どもを社会全体で健やかに育むほか、子どもとともに学び、子どもから信頼される地域社会を築き、子育て世代にとって魅力のあるまちづくりを進めます。

成果指標 合計特殊出生率

1.67 (2015年) ▶ 1.80 (2025年)

※平均寿命(歳)…男性 80.9、女性 87.4(2015年)

基本目標 3

思いやりと生きがいが育つまち

思いやりが人と人をつなぎ、一人ひとりが輝くまちを実現します。



基本目標 4

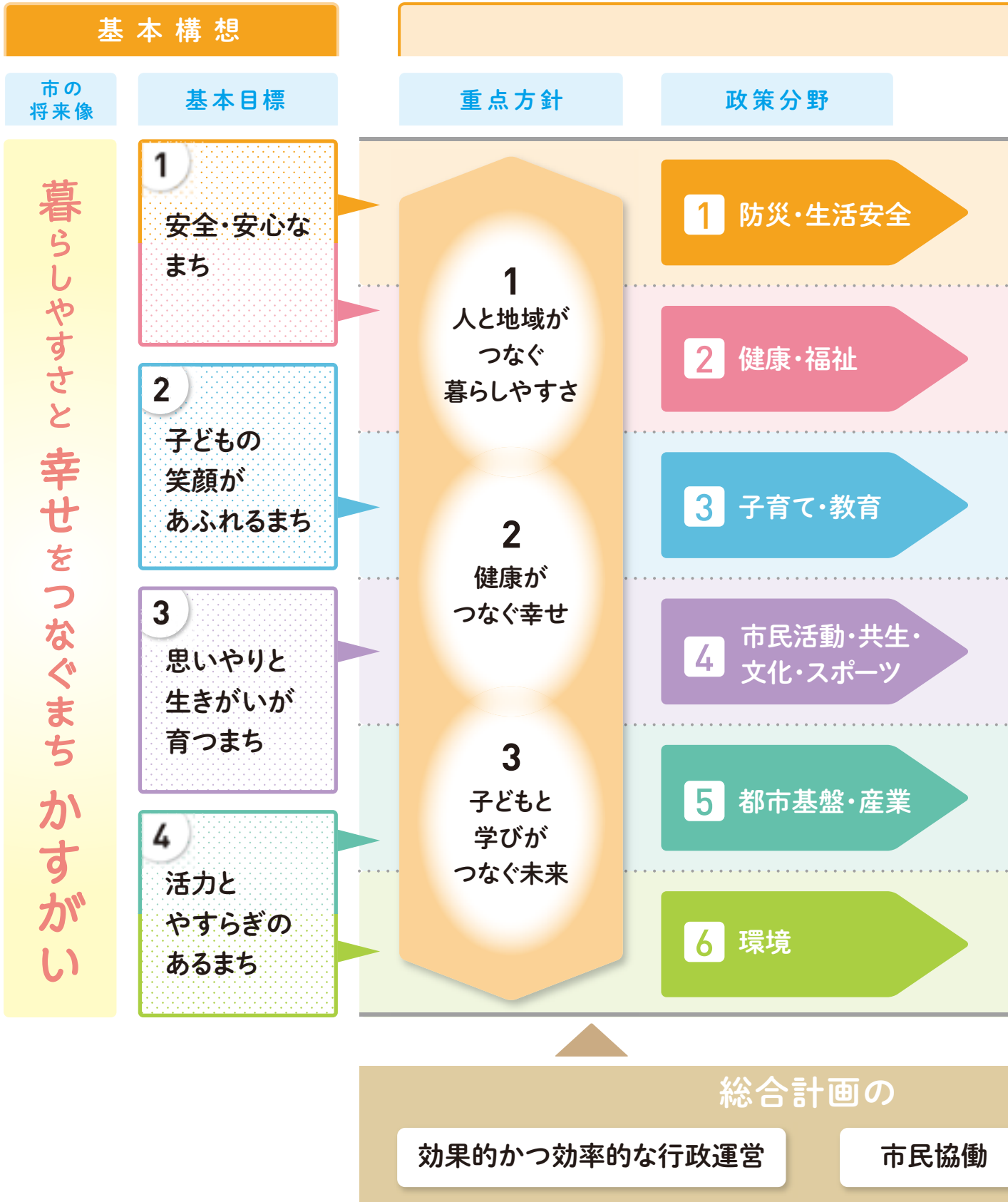
活力とやすらぎのあるまち

「春日井」の魅力をもっとつなげ、みんなで未来を創るまちを実現します。



総合計画の体系図

● 体系図



基本計画

めざすまちの姿

- 災害に対する備えができているまち
- 犯罪や交通事故が少ないまち

- 健康を大切にすまち
- 福祉や医療が充実したまち

- 子どもの成長を応援するまち
- 子どもの可能性を広げるまち

- 人を思いやり、ともに助け合うまち
- 誰もが尊重され、大切にされるまち
- 文化・スポーツに親しむまち

- 快適な住環境が整ったまち
- 活力を生み、人が集い交流するまち

- 環境にやさしいまち

施策

- 1 防災・減災対策の充実
- 2 防犯力の向上
- 3 交通安全対策の強化

- 1 健康づくりの推進と地域医療の確保
- 2 高齢者福祉の充実
- 3 障がい者福祉の充実
- 4 地域での支え合いの推進

- 1 子育て子育て支援の充実
- 2 良好な教育環境の整備

- 1 地域コミュニティの活性化と市民参加の促進
- 2 ダイバーシティ(多様性)の推進
- 3 文化・スポーツ・生涯学習の推進

- 1 都市基盤整備の推進と公共交通の整備
- 2 産業の振興と安心して働ける環境づくりの推進

- 1 地球環境の保全と自然との共生
- 2 ごみ減量とまちの美化の推進

実現に向けて

の推進

地域資源を活用した活力の創出



防災・生活安全



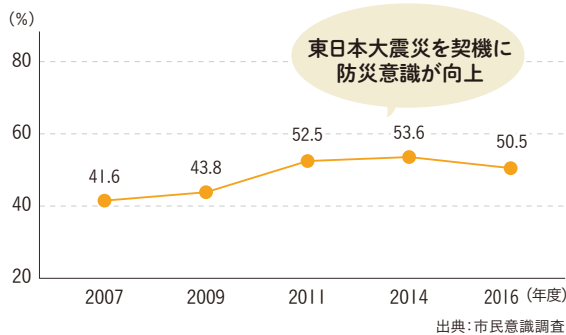
- ▶ 災害に対する備えができているまち
- ▶ 犯罪や交通事故が少ないまち

現状と課題

防災

東日本大震災(2011年)を機に市民の防災意識は向上したものの、災害への備えをしている家庭は半数程度。今後想定される様々な災害に備え、自助・共助・公助による防災・減災対策が必要です。

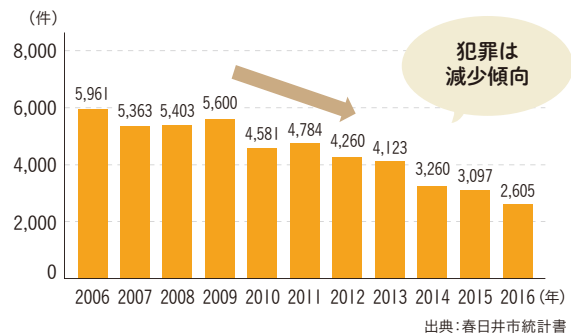
■ 災害への備えをしている家庭の割合



生活安全

- 巧妙化する犯罪や消費者トラブルを防ぐための取組みが必要です。
- 交通事故の減少は本市の喫緊の課題であり、市民や関係機関が一体となった対策が急務です。

■ 犯罪発生件数



施策(市の取組み)

① 防災・減災対策の充実

- 防災意識の向上と地域防災力の強化
- 防災・減災体制の整備
- 治水対策の推進
- 消防・救急体制の充実と危機管理対策の推進

② 防犯力の向上

- 防犯意識の向上と防犯活動への支援
- 消費者トラブルへの対策

③ 交通安全対策の強化

- 交通安全意識と交通安全マナーの向上
- 生活道路の安全確保

私たちにできること

地域の防災マニュアルを確認し、防災訓練に参加すること

あいさつや声かけをしながら犬の散歩をするなど、地域の目を強化すること

ながらスマートフォンなど周りの人の通行を妨げないこと

交通ルールとマナーを守り、思いやりのある運転を心がけること

健康・福祉



めざす まちの姿

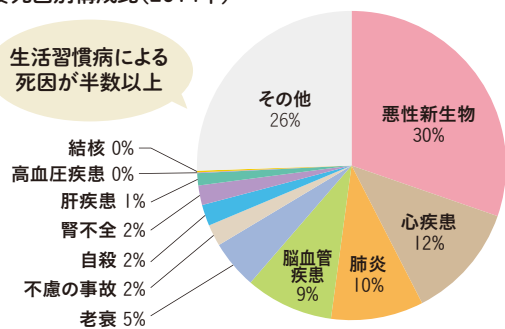
- ▶ 健康を大切にすまち
- ▶ 福祉や医療が充実したまち

現状と課題

健康

生活習慣病が増加するなか、市民が健康を意識し、健康づくりができる環境を整えとともに、住み慣れた地域で適切な医療を受けられる体制を持続的に確保することが必要です。

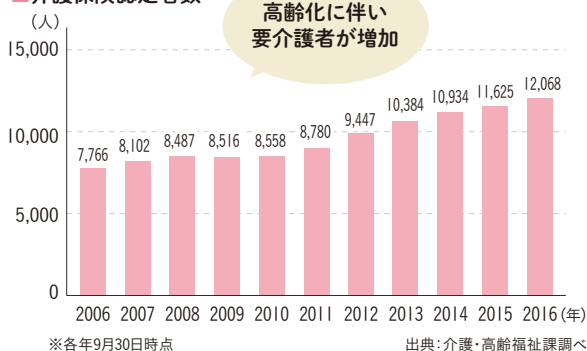
■ 主要死因別構成比(2014年)



福祉

住み慣れた地域で高齢者や障がいのある人が安心して生活できるための環境づくりや、地域で支え合う仕組みづくりの推進が必要です。

■ 介護保険認定者数



施策(市の取組み)

- 健康づくりの推進と地域医療の確保**
 - 疾病予防の推進と健康づくりの支援
 - 地域医療体制・救急医療体制の充実
- 高齢者福祉の充実**
 - 介護予防対策と在宅福祉サービスの充実
 - 高齢者の生きがいづくりや社会参加の推進
- 障がい者福祉の充実**
 - 障がい者福祉サービスの充実
 - 障がいのある人の暮らしを支える環境づくり
- 地域での支え合いの推進**
 - 地域包括ケアシステムの体制づくり
 - 地域福祉活動への支援
 - 生活困窮者の自立支援

私たちにできること

運動習慣を身につけ、生涯にわたって適度な運動量を保つこと

予防接種や健康診断を受けること

地域の高齢者などが気軽に集まれる機会や場をつくり、積極的に参加すること

地域で困っている人を気づかい、生活課題を共有、解決できる仕組みをつくること



子育て・教育

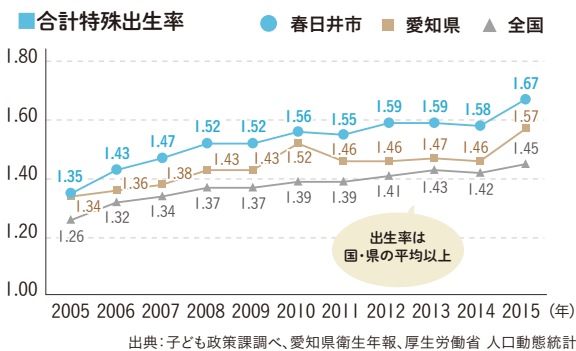


- ▶ 子どもの成長を応援するまち
- ▶ 子どもの可能性を広げるまち

現状と課題

子育て

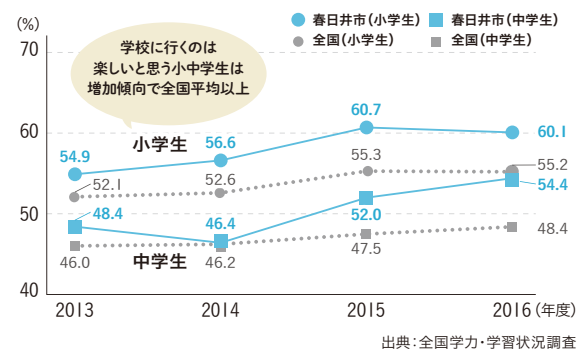
本市の合計特殊出生率は国・県の平均以上ですが、出生数は減少傾向のため、結婚・出産の希望をかなえることができる環境づくりとともに、多様化する保育ニーズに応え、社会全体で子育てを支える環境づくりが必要です。



教育

良好な教育環境を確保するほか、子どもの不安や悩みに対するきめ細かな支援など、家庭と地域と学校が一体となって、子どもの健やかな成長を支えることが必要です。

■学校に行くのは楽しいと思う小中学生の割合



施策(市の取組み)

① 子育て子育て支援の充実

- 妊娠・出産・子育ての不安や負担の軽減
- 保育園の整備と多様な保育サービスの提供
- ひとり親家庭などへの支援

② 良好な教育環境の整備

- 学力・体力の向上と快適な学習環境の確保
- 家庭・地域と連携した魅力ある学校づくりと教育力の向上
- 安全・安心な学校給食の充実と食育の推進
- いじめの未然防止と相談体制の充実

私たちにできること

家族で楽しく食事をしたり、子どもの話を聞くなど子どもが健やかに育つような家庭づくりをすること

妊婦や乳幼児を連れた人に配慮すること

学校や地域の行事、PTA活動などに参加、協力すること

身近な子どもや子育て家庭への声かけなどを行い、「地域の子ども」として地域全体で見守り、育てること



市民活動・共生・文化・スポーツ



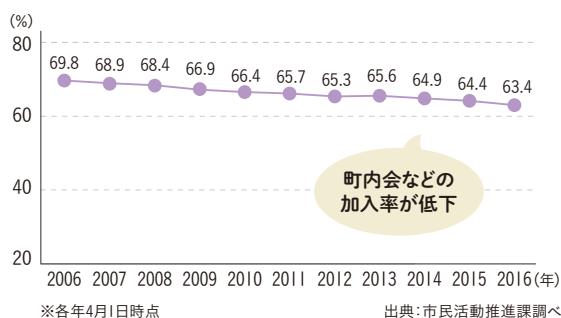
- ▶ 人を思いやり、ともに助け合うまち
- ▶ 誰もが尊重され、大切にされるまち
- ▶ 文化・スポーツに親しむまち

現状と課題

市民活動・共生

- 住民同士のつながりを深めたり、誰もが地域や社会の担い手として活躍できる環境を整えることが必要です。
- 性別や国籍などの違いを尊重し、認め合い、多様な人材が活躍できる社会の実現が必要です。

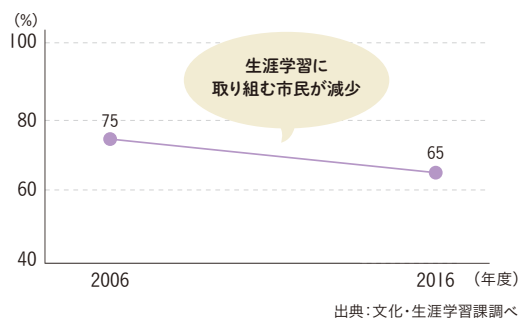
■ 区・町内会・自治会などの加入率



文化・スポーツ

- 誰もが文化芸術やスポーツに親しむことができる環境づくりが必要です。
- 健康や生きがいにつながるよう、生涯を通じて学習活動を行うことができる環境づくりが必要です。

■ 生涯学習に取り組んでいる市民の割合



施策(市の取組み)

① 地域コミュニティの活性化と市民参加の促進

- 町内会活動への支援
- 住民が集まる機会の充実と多世代交流の促進
- 市民活動団体への支援

② ダイバーシティ(多様性)の推進

- 個性と能力を発揮できる環境の整備
- 多文化共生の促進

③ 文化・スポーツ・生涯学習の推進

- 文化芸術に親しむ環境づくり
- スポーツに親しむ環境づくり
- 学びと交流の機会の提供

私たちにできること

祭りなど地域の行事に参加、協力すること

まちづくりの担い手として市政に関心を持ち、参加すること

地域活動の中核となるリーダーや組織をつくること

趣味や生きがいを見つけて心豊かに楽しく暮らすこと

地域の歴史や文化を共有し、次世代に伝えること

都市基盤・産業



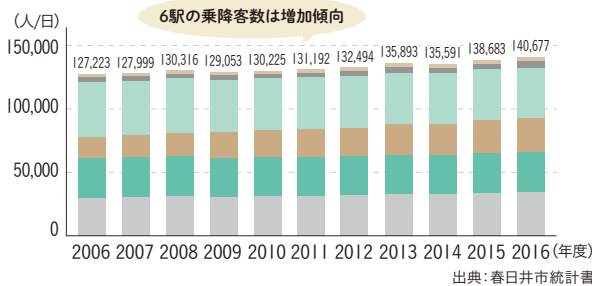
- ▶ 快適な住環境が整ったまち
- ▶ 活力を生み、人が集い交流するまち

現状と課題

都市基盤

- 人口減少や少子高齢化に対応しつつ、まちの活性化と快適な住環境を維持するまちづくりが必要です。
- インフラ資産の老朽化対策を健全な財政運営の下で計画的に行うことが必要です。

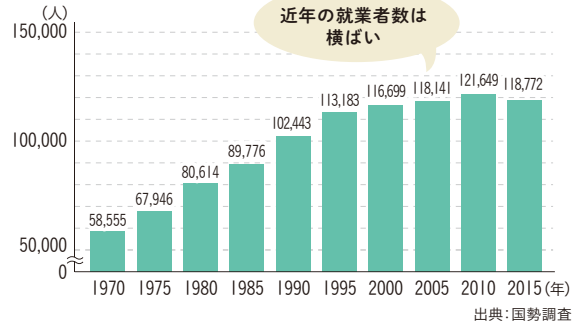
■ 6駅(JR勝川・春日井・神領・高蔵寺、名鉄味美・春日井の各駅)の乗降客数



産業

- 産業の活性化による雇用創出や、身近な地域で買い物ができる利便性の向上が必要です。
- 誰もが安心して働ける環境づくりや、農への関心と理解を深める取組みが必要です。

■ 市内就業者数



施策(市の取組み)

① 都市基盤整備の推進と公共交通の整備

- 鉄道駅周辺の整備促進と都市機能の誘導・充実
- 公共交通の利便性向上と利用促進
- 道路・橋梁・排水路・上下水道などの整備
- 河川環境の保全、緑化推進と公園・街路樹の整備

② 産業の振興と安心して働ける環境づくりの推進

- 優良企業の誘致や企業立地の推進
- 新たな事業活動と経営基盤強化への支援
- ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
- 地域資源の活用・創出と商業の活性化
- 農業経営基盤と農に親しむ機会の充実

私たちにできること

移動時の乗り合いなど住民同士で外出を協力し合うこと

道路や公園、街路樹など地域の公共物の維持管理や緑化活動をする

ワーク・ライフ・バランスを理解し、実践すること

地域の商店を利用したり、商店街のイベントに参加すること

地元の食品や製品を購入すること

環境



めざす まちの姿

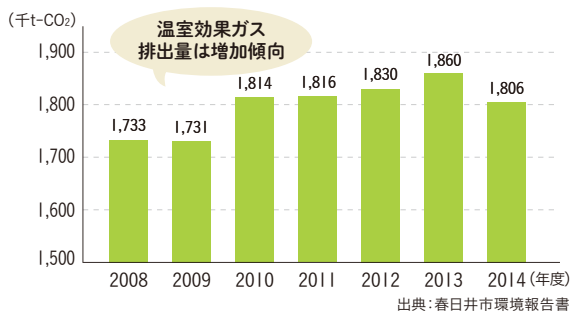
▶ 環境にやさしいまち

現状と課題

地球環境・自然環境

- 市民・事業者・行政が一体となって、地球温暖化などの地球環境問題に取り組むことが必要です。
- 生活にやすらぎを与えてくれる身近な自然を一人ひとりが大切にすることが求められます。

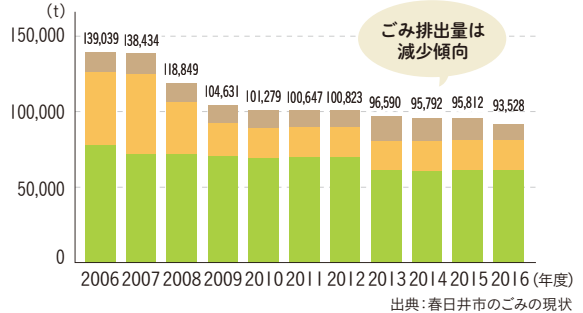
■ 温室効果ガス排出量



ごみ・環境美化

- ごみの排出量は減少傾向ですが、減少率が低い家庭ごみのさらなる減量と資源化が必要です。
- ごみの排出などのモラルの向上を通じて衛生的で快適な生活環境の確保が求められます。

■ ごみ排出量



施策(市の取組み)

① 地球環境の保全と自然との共生

- 環境にやさしい取組みの促進と公害の未然防止
- 自然と親しむ機会の充実と希少動植物の保護

② ごみ減量とまちの美化の推進

- ごみの減量と資源の有効活用
- 環境美化の意識向上と活動促進

私たちにできること

自然にふれあい、自然を楽しむこと

エコドライブやクールビズなど環境に配慮した行動を実践すること

ごみの量を減らし、資源の分別やリサイクルを積極的に行うこと

ごみ出しのルールやマナーを守ること

地域の清掃活動に参加したり、植栽を手入れしたりすること

● まちづくりの進め方

総合計画を実現するためには、市が春日井の未来に責任を持ち、効果的かつ効率的な行政運営を進めるほか、都市経営の中核となり、多様な主体を活用することが必要です。市は、市民、事業者などと協力して、地域資源を最大限に活用し、総合的かつ戦略的な事業展開を図ります。

1 効果的かつ効率的な行政運営

財政運営が楽観視できない状況にあっても、質の高い市民サービスを提供し続けることが必要です。そのため、市は効果的かつ効率的な行政運営を図りながら、増加・多様化する市民ニーズに適切に対応し、多くの市民が「暮らしやすさ」と「幸せ」を実感できるまちづくりを進めます。

情報の共有と
ICTの活用

職員の育成と機能的な
組織体制の整備

計画的な行政運営と
自律した財政運営

民間活力の活用と多様な
主体との連携の推進

2 市民協働の推進

核家族化や少子高齢化の進行などに伴い、家族や地域だけでは解決できない生活課題が増加・多様化しています。こうしたなか、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、市と市民が連携・協力しながらまちづくりを進めていくことがますます重要となっています。

市民参加の促進

地域コミュニティの
活性化

市民サービスの
担い手づくり

市民協働の推進
体制の整備

3 地域資源を活用した活力の創出

本市が将来にわたって持続可能な都市を築くためには、新たな活力やにぎわいの創出を図ることが必要です。豊かな自然や今までに築いた都市機能などの地域資源を最大限に活かし、誰もが愛着と誇りを持って住み続けることができるまちづくりを進めます。

公共施設等の効果的な活用

効果的な土地利用の推進

戦略的かつ効果的な
魅力発信の推進



●一緒にまちづくりを進めよう!

総合計画は
どうやってできたの?

市民ワークショップやアンケート調査、グループインタビューなど、多くの市民の皆さんの「春日井をこんなまちにしたい」という思いを取り入れて作成しました。

市民ワークショップ

市内7か所で開催した市民ワークショップ「TALK&CAFE」には、中学生から高齢者まで延べ211人が参加。市民と行政が一体となって自分たちの暮らすまちについて考える楽しさ、必要性を再認識する機会となりました。



グループインタビュー

市内で活動する市民活動団体や高校の生徒会など31団体にインタビューを行いました。



小学校出張授業

市内の8つの小学校で、春日井市の未来について考える出張授業を行いました。



計画を実現しよう

多くの市民の皆さんの声を取り入れて作成したこの第六次総合計画は、「暮らしやすさと幸せをつなぐまち かすがい」を実現していくための新しい道しるべ。今後、春日井市がどんなまちをめざし、どのような政策に取り組んでいくのかを明確にしました。

「春日井が好き」、「春日井にずっと住みたい」、「春日井は私の自慢のふるさと」。そんな声をもっとたくさん聞かれるように、本市はこれからも市民の皆さんとのつながりを大切にしながら、目標に向かって着実に歩んでいきます。





暮らしやすさと幸せをつなぐまち かすがい

【お問い合わせ】
春日井市企画政策部企画政策課
電話(0568)81-5111(代表)

詳しくは春日井市ホームページを
御覧ください。

第六次春日井市総合計画

検索